



<本年度クラブ会長方針>

繋ごう『クラブの心』、築こう『クラブのさらなる繁栄』を

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日 12:30 例会場 名古屋東急ホテル
会長 丹下富博 事務局 名古屋市中区栄4-7-10 栄第8口イナルビル6F
幹事 大上晃延 電話(052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008
URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org



例年プログラム
23-24年度
国際ロータリー第2760地区
地区大会 11月12日(日)
於 名古屋国際会議場 センチュリーホール
本会議土前の部
開会11時00分 閉会12時20分
本会議土後の部
開会13時20分 閉会16時30分
(記念講演:徳川家広氏)
徳川宗家19代当主
開始14時45分 終了16時15分

第1913回例会
ロータリー財団月間
令和5年11月12日(日)
地区大会(第2日目)
於 名古屋国際会議場
会員63名
出席計算数
63名中63名出席
出席率100%
前々回出席率70.00%

記念講演
「三河武士がつくった
徳川の平和と繁栄」
徳川家広
徳川宗家19代当主
(徳川家広)

表彰・地区表彰
国際ロータリー表彰
米山記念奨学会表彰
地区表彰
次年度地区大会PR
次年度ホスト/春日井RC
24-25年度地区大会
2024年11月9日(土)
於 名古屋観光ホテル
2024年11月10日(日)
於 名古屋国際会議場
(春日井市民会館から変更)

オープニング
アトラクション
松平わ太鼓
寄付目録贈呈
愛知県知事
大村秀章

「奉仕の理想」
指揮者 鬼頭 茂成
ピアノ伴奏 富板 玲子
地区ロータリー財団委員会資金推進委員会委員 仲林 宏昌さん
(名古屋大須RC)

例年プログラム
★表彰状披露
★R財団寄付バナー・感謝状披露
★堀江国際奉仕委員長
★桃園西門RC懇親会案内
★内藤R財団米山記念奨学会副委員長
★「モンゴルのタベ」案内
★杉本青少年奉仕委員長
★RYLAセミナー案内
★ロータリー財団月間卓話

第1914回例会
ロータリー財団月間
令和5年11月16日(木)
月間卓話
於 名古屋東急ホテル
会員63名
出席計算数
57名中47名出席
出席率82.46%
前々回出席率86.89%

ニホボックス
仲林さん 卓話楽しみにしています。
PS. ゴルフ部会優勝しました。
丹下 富博
仲林さん 卓話楽しみにしています。
大上 晃延・藤田 澈

「奉仕の理想」
指 揮 者 鬼頭 茂成
ピアノ伴奏 富板 玲子
地区ロータリー財団委員会資金推進委員会委員 仲林 宏昌さん
(名古屋大須RC)

会長挨拶
知合いのドクターから「不老不死の研究」という単行本を買いましたが、著者はホリエモンこと堀江貴文さんでした。正直言ってドクターがホリエモンの不老不死の研究に興味を抱くのかと思いましたが読んでみることにしました。

2022-23年度 地区財団活動資金(DDF)の使われ方

項目	金額	残高
年次基金(シェア)寄付の50%(2019-20)	\$391,588.10	\$391,588.10
恒久基金(シェア)使用可能な収益の50%	\$44,318.03	\$435,906.13
寄贈ポリオプラス	(\$10,000.00)	
寄贈ポリオプラス	(\$55,000.00)	\$370,906.13
地区補助金(申請クラブ:56)	(\$134,716.00)	
◎実:3360 タイ 援:小牧RC	(\$17,600.00)	
◎奨学生	(\$40,000.00)	
◎実:3350 タイ 援:刈谷RC	(\$40,000.00)	
◎実:3780 フィリピン 援:名古屋和合RC	(\$16,000.00)	
◎実:9212 ケニア 援:1120、2760、他	(\$26,700.00)	
◎実:3420 インドネシア 援:3310、2760、他	(\$10,000.00)	\$85,890.13

資金の50%が地区財団活動資金(DDF)、残りの50%が国際財団活動資金(WF)となります。これはこの金額がそのままで戻ってくる訳ではなく、使う権利がある、ということなのです。そのため、地区補助金については、地区は1ロータリー年度につき1回申請を提出することができ、残金はすべてグローバル補助金に充当します。

毎年、当地区では年次基金寄付を約80万ドル集めています。昨年度は70万ドルでした。したがって、再来年25-26年度は、使えるお金が減ることになります。

例として、昨年22-23年度の地

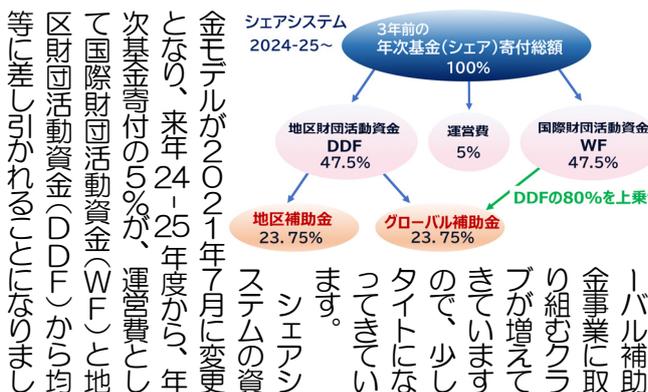
区財団活動資金(DDF)の使われ方を説明します。3年前19-20年度の年次基金寄付の50%の391,588.10ドル、恒久基金の使用可能収益の50%の44,318.03ドル、合計435,906.13ドルが、地区財団活動資金(DDF)となります。このうち、地区補助金(申請クラブ:56)は134,716.00ドル、奨学生40,000.00ドル、実業家寄付3360名17,600.00ドル、実業家寄付3350名40,000.00ドル、実業家寄付3780名16,000.00ドル、実業家寄付9212名26,700.00ドル、実業家寄付3420名10,000.00ドルが、地区補助金に充当されています。

また、本来ならVTT事業も行っていますが、22-23年度もコロナ感染拡大の影響により実施することができませんでした。ちなみに、今年度の地区補助金申請額は188,209.00ドル、66クラブから申請がありました。金額的に5万ドル増えています。グローバル補助金は、現在名古屋守山RCと名古屋清須RCが申請書を作成中で、名古屋港南RC、岡崎RC、岡崎南RCが申請に向けての準備をされています。さらに、詳しい内容はあとで説明しますがVTT事業も行います。少しずつグロ

区財団活動資金(DDF)の使われ方を説明します。3年前19-20年度の年次基金寄付の50%の391,588.10ドル、恒久基金の使用可能収益の50%の44,318.03ドル、合計435,906.13ドルが、地区財団活動資金(DDF)となります。このうち、地区補助金(申請クラブ:56)は134,716.00ドル、奨学生40,000.00ドル、実業家寄付3360名17,600.00ドル、実業家寄付3350名40,000.00ドル、実業家寄付3780名16,000.00ドル、実業家寄付9212名26,700.00ドル、実業家寄付3420名10,000.00ドルが、地区補助金に充当されています。

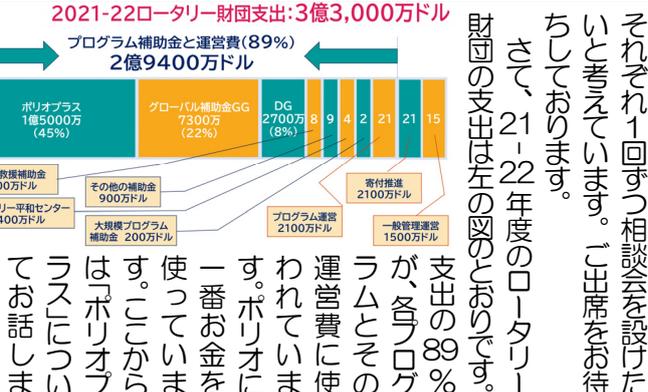
また、本来ならVTT事業も行っていますが、22-23年度もコロナ感染拡大の影響により実施することができませんでした。ちなみに、今年度の地区補助金申請額は188,209.00ドル、66クラブから申請がありました。金額的に5万ドル増えています。グローバル補助金は、現在名古屋守山RCと名古屋清須RCが申請書を作成中で、名古屋港南RC、岡崎RC、岡崎南RCが申請に向けての準備をされています。さらに、詳しい内容はあとで説明しますがVTT事業も行います。少しずつグロ

毎年、このように卓話訪問をさせていただいていますが、地区の財団委員が訪問して卓話させていただくのは、今年が最後です。来年度から、各クラブの財団委員長が、財団セミナー等で聞かれた話をクラブの皆様にしつかりお伝えする機会として、11月の財団月間を利用していただきたいと考えました。11月の財団月間卓話のため、2024年4月7日 地区研修・協議会、2024年8月2日 財団セミナーに加え、10月頃に名古屋地区・西三河地区・豊橋地区



ポリオはエジプト時代の石板にも片足の細った患者らしき姿が描かれており、ヨーロッパでは古くから知られる感染症でした。日本では有史以来の文献に記述がなく、明治時代以降に海外から入ってきた疾患であるとの説が有力でしたが、日本の縄文時代の入江遺跡の骨からポリオの痕跡がみられたとの報告もあり、その間の経過に関しては実はよくわかっていません。

しかし、1940年代頃から全国各地で流行がみられ、1960年には北海道を中心に5,000名



ポリオ発症数の推移

1988年	350,000人
1998年	6,227人
2008年	1,651人
2018年	33人
2023年	7人

8年に35万人いた感染者がご覧のように激減したわけですね。皆さん、毎月発行されている財団年

それそれ1回ずつ相談会を設けたらいいと考えています。ご出席をお待ちしております。

さて、21-22年度のロータリー財団の支出は左の図のとおりです。支出の89%が、各プログラムとその運営費に使われています。ポリオに一番お金を使っています。ここからはポリオプラスについてお話します。

ロータリーがポリオの根絶を目標に定めた時には、ポリオの根絶などは夢物語だと思われていました。しかし1985年から「ポリオプラス」プログラムを開始し、1988年にはWHOと共に「世界ポリオ根絶推進活動」を立ち上げ、ポリオのない世界のために、先頭に立って活動してきました。こうした活動が実を結び、1988年に35万人いた感染者がご覧のように激減したわけですね。皆さん、毎月発行されて



【野生型ポリオウイルスによる症例数】

	2023 1/1~9/19	2022	2021	2020
常在国				
パキスタン	2	20	1	84
アフガニスタン	5	2	4	56
非常国				
モザンビーク	0	8	1	0
マラウイ	0	0	0	0
世界合計	7	30	6	140

財団法人NEWS10月号

が右の図です。

ポリオの常在国はパキスタンとアフガニスタンの2カ国となり、先月は、パキスタンでは2名、アフガニスタンでは5名でしたので、残念ながら、両国とも人数が増えています。

また昨年7月に、ニューヨークとロンドンで、下水からポリオウイルスが検出され、アメリカでポリオ罹患後の神経麻痺を認めた患者が発生し、8月にはロンドンでポリオワクチンのブースター接種が行われました。これらは、ポリオがまだ『過去の病気ではない』ことを意味しています。すなわち、私たちの子供や孫たちも、今後ポリオに罹患する危険性がゼロではないといえるのです。

発生者が激減しても多大な寄付が必要な訳は、ひとりで感染者がいたら、新生児4億人に必ず予防接種しなければいけません。ポ

EWISは読んでいただきありがとうございます。ここには「ポリオウイルスによる症例数」が記載されています。その表を大きく書き表したの

ポリオワクチン予防接種はすべての国で行っています。

この危険性を限りなくゼロに近づけるためには、世界中でポリオの野生株を根絶させることが一番重要なことです。これが達成できない限り、世界中でポリオワクチンを打ち続けていく必要があり、毎年このために、各国で、あるいはロータリーから多額の資金が拠出されているのです。ウイルスに国境はありません。対策しなければ、10年間で20万人が罹患します。また、ワクチンは冷やして届けなければいけません。これを「コールドチェーン」と呼ばれ、ずっと維持しなければなりません。これは、COVID-19のワクチン配送でも役に立ちました。紛争地域でのワクチンデリバリーには、インフラが整っていないため、通常よりも多額の資金が必要です。ウクライナの接種率が紛争で低下しました。では、もし根絶が達成されたらどうなるのでしょうか。日本では1回あたり約5,000円×4回子ども1人に約20,000円、毎年160億円もお金がポリオワクチンのために費やされています。ポリオが根絶されれば、この資金が不要になれば、例えば子育て支援、あるいは出産費用の助成金など、さまざまに振り分けられることができます。

考えていましたが、1979年のフィリピンにおける事業から関わり、すでに35年以上にわたり活動を行ってきたおり、資金も22億ドル以上かけてきました。ポリオが根絶されれば、人類にとってこれ以上ない貢献となります。毎年ロータリーでポリオに使った1億5,000万ドルがフリーになり、日本では、ポリオ不活化ワクチンに使った160億ドルが不要になります。10月27日金曜日に、ポリオ根絶チャリティゴルフコンペ2023が開催されました。この日集まった寄付金は101,000円と予想を超える金額となりました。次年度も、世界ポリオデーにあわせ、チャリティゴルフコンペを予定しています。日程等が決まりましたらお知らせいたしますので、皆さま奮ってご参加ください。よろしくお願いいたします。

地区補助金

地区補助金についてお話したいと思っております。地区補助金は、地元や海外の地域社会のニーズに取組むための、比較的規模の小さい、短期的な活動を支援する補助金です。

先ほども説明しました通り、来年度24-25年度は、21-22年度の年次基金寄付額の23.75%が補助金申請可能額になります。クラブの拠出金は0でも構いません。

	2023-24 年次基金(シア) 寄付額の 25%	2024-25~ 年次基金(シア) 寄付額の 23.75%
申請可能額		
クラブ拠出金	クラブ拠出金「0」でも良い	クラブ拠出金「0」でも良い

申請要件としては、ロータリー財団の使命に沿っていること、ロータリー会員が積極的に参加することが大切です。

特定の個人、団体、地域社会に対する継続的または過度の支援、募金活動、ロータリー行事に関連する経費、受益者や協力団体への使途無指定の現金寄付等々、補助金を受領する活動では、これらを行うことはできません。この事に注意して計画を立ててください。詳細は『地区補助金 授与と受諾の条件』をよくお読みください。

また、ロータリークラブもロータリーの一人として、補助金を利用できるようにしました。ただ、ロータリークラブは3年前に寄付をしていません。提唱クラブの「申請可能額」の一部を使用していただく事になります。提唱クラブと相談をして下さい。

2023年12月、次年度地区補助金事業の予定に関するアンケートを実施します。より大きな事業をやりたいと思うクラブには、使わないクラブの補助金枠を使えるようにしたいと思っております。ただし、これは『共同事業』に限ります。委員会からはアンケート結果によ

る情報はお伝えしますが、マッチングについては関与いたしません。お早めに24-25年度の事業構想を練ってください。

グローバル補助金

続きましてグローバル補助金についてです。2ヶ国以上のクラブ・地区が、一つの重点分野に該当し、持続可能かつ測定可能な成果をもたらす、大規模な国際的活動を支援する補助金です。

申請要件は、地区補助金と同様に、ロータリー財団の使命に沿っていること、ロータリー会員が積極的に参加することに加えて、2カ国以上のクラブ・地区が参加すること、最低予算3万ドル以上であること、持続可能性を担保すること、測定可能であることです。

このグローバル補助金の活動では、①受益社会の人びとがサポートしていること、②ロータリー会員が主導すること、③測定可能な結果数値化して残すこと、④補助金を使い尽くされた後も地域社会が自力で持続しているものであることが条件になります。

クラブからの現金拠出の8倍までのDDFを申請することが可能です。上限は4万ドルです。クラブ理事会を通して申請していただくために、このようなシステムになりました。MY ROTARYでの申請手続きを始める前に、必

す地区ロータリー財団委員会にDFP申請書を提出し、財団委員長との面談を行ってください。

グローバル補助金事業のひとつ、職業研修チーム（VTT）についてです。VTTとは、Vocational Training Teamの略で、専門家チームを海外に派遣して研修を行う、または、専門家チームを国内に招聘して研修を行う、職業奉仕事業であり国際奉仕事業です。

今年度、3年ぶりにVTTを行います。フィリピンの南、ミンダナオ島という大きな島にあります。タバオという町が中心の38000地区と連携して、同地区への要請のあった心臓外科手術の技術指導を行う予定で、現在ロータリー財団の承認を待っている状況です。



12月10日に38000地区の医療チームが来日し、研修を行います。来日した際には、皆さまも応援にきてください。

続いてグローバル補助金奨学生についてです。グローバル補助金の海外の大学院で、ロータリー

リーの重点分野のいずれかに該当する分野を専攻する方を対象として、返済不要の奨学金を給付するプログラムです。以前はどのような分野でも奨学金を申請することができましたが、未来の夢計画導入によって、ロータリーの重点分野に限定されました。実務経験は不要です。皆様ご存じの日本人初の国連難民高等弁務官をつとめられた、緒方貞子さんも、軍縮担当国連事務次長の中満泉さんも財団奨学生でした。

8月、9月、10月のいずれかに留学を開始する奨学金の申請は、6月30日までに財団に提出しなければなりません。奨学金候補者が出発する少なくとも3ヶ月前までに申請書を提出することが必要です。一番重要なのは、受入国側のクラブを探ことです。これが本当に大変で、毎年、相当な時間を要します。

平和フェローシップ

平和フェローシップについてです。平和を愛する人達のためのネットワークを構築するためのプログラムです。ロータリー平和センターは7つあり、8つの大学に設置されています。このうち、5つのセンターでは、平和と開発に関する修士号取得プログラムを提供しています。米国・デューク大学およびノースカロライナ大学チャ

ペルヒル校（合同で一つの平和センターを運営）、日本・国際基督教大学、英国・ブラッドフォード大学、オーストラリア・クイーンズランド大学、スウェーデン・ウプサラ大学。

ウガンダ・マケレレ大学の平和センターでは、平和と開発に関する修士号を提供しています。オンライン学習、教室での授業、社会変革イニシアチブを合わせた1年間のプログラムが実施されます。マケレレ大学の開設にあたっては、2760地区が大きく関与しています。

タイのチュラロンコン大学の平和センター2023年8月で閉鎖となりました。新たに、トルコ・イスタンブールのバチエシエヒシユ大学が、2024年2月に最初の申請を開始し、2025年1月までに第一期生を受け入れる予定です。

ロータリー平和フェローの申請には、3年以上の実務経験が必要です。平和フェロー、グローバル補助金奨学生とも、優秀な候補者を探す上で重要な役割を担うのがロータリアンです。素晴らしい人材の推薦にこそ協力ください。

財団の資金

先ほども説明した財団の資金についてお話しします。21-22年度の一一般管理等を含め

たロータリー財団の支出は3億3,000万ドルでした。そのうちの89%、2億9,400万ドルがプログラム補助金と運営費に使用されました。他の団体では60%から70%であることと比べると、いかに大きく事業費に回しているかわかります。

ロータリー財団は、2023年、米国の慈善団体の格付けを行う独立機関であるチャリティーナビゲーターから、15年連続で最高の四つ星評価を受けました。この評価は、ロータリー財団が透明性を重視し、責任ある管理を行っていることを認められたことによるものです。

23-24年度の地区の財団寄付目標は、年次基金寄付一人あたり150ドル以上、ポリオプラス寄付お一人あたり30ドル以上をお願しております。ポリオプラス寄付では、5,000万ドル集まれば、ゲイツ財団から1億ドル提供されます。

23-24年度は、ポール・ハリス・ソサエティ（PHS）、ポリオプラス・ソサエティ（PPS）のクラブ会員5%入会を推進します。8月4日に晩さん会を行いました。次年度は、補助金管理セミナーの後に開催しようと考えています。PHSメンバーの皆様には是非ご参加いただきたいと思ひます。恒久基金は、クラブで新規ベネ

ファクターを1名以上、または1,000ドル以上、大口寄付は地区で5名以上が目標です。

恒久基金とは、ロータリー財団の根幹を支える資金です。草花を育てることに、『毎日与える水』が年次基金寄付としたら、いざという時に活用するために『貯めておく水』が恒久基金寄付。恒久基金は投資され、運用益のみ使用します。

ロータリークレジットカード

ロータリーのクレジットカードご利用のすすめです。例えば、カードで2万円のショッピングをするとき、0.3%＝60円自動寄付されます。23-23年度のダイナースクラブカード利用実績は、クラブカード106,626,000円、委員会カード4,123,000円、地区カード9,461,000円、地区合計で120,210,000円分利用されています。ちなみに日本全体では2,573,270,000円利用されています。入会費・年会費は無料です。このクラブカードを「例金費」、「人頭分担保金」、「ロータリー財団寄付」の支払い等、必ずかかる経費に対して、是非使っていただきたいと思ひます。また、クラブ運営のためのカードの他にもう一枚、地区補助金事業利用として、ネット等での支払いに利用できる「地区補助金専用口座

に紐づけしたカード」も作成していただければと思います。

最後に、クラブの活性化に、ロータリー財団を是非活用ください。そして、財団への寄付金などのように使われているか、理解頂き、会員お心ごのじつき、年次基金に150ドル以上、ポリオプラスに30ドル以上、さらに、1クラブにつき、恒久基金に1,000ドル以上を寄付ください。

ロータリー財団をクラブ活性化に!



「清聴ありがとうございます。」
「お願ひ申し上げます。」
「何卒、宜しくお願い申し上げます。」

表彰状披露

22-23年度ロータリー賞
(旧: R-会長賞)

R財団寄付バナー及び感謝状披露

・年次基金への一人あたりの寄付額上位3クラブ
(地区内で、年次基金への一人あたりの寄付額が上位3位に入ったクラブに贈られます。)

- ①名古屋三洲RCC \$3009.8 / 人
- ②名古屋中RCC \$264.68 / 人
- ③名古屋大須RCC \$264.14 / 人

100%ロータリー財団

ロータリー年度の会員一人あたりの平均寄付額が100ドル以上であり、正

会員全員が「年次基金」「ポリオプラス基金」「ロータリー財団が承認した補助金」「恒久基金」のいずれかまたはすべてに少なくとも25ドル以上を寄付したクラブに贈られます。

100%Rotarian, Every Year

(「Every Rotarian, Every Year」クラブ)ロータリー年度の会員一人あたりの年次基金への平均寄付額が100ドル以上であり、正会員全員が年次基金に少なくとも25ドル以上を寄付したクラブに贈られます。

End Polio Now: 「歴史を今をカウントダウン」感謝状



「少なくて、500米ドルをロータリーのポリオ根絶活動に寄付したクラブに贈られます。」

その他・お知らせ

国際ロータリー・ニュース

2023年11月21日
ブラジルのRCCが全国的なポリオ予防接種キャンペーンを展覧

新型コロナウイルスのパンデミックがもたらしたのは、悪いことばかりではありません。ブラジルでは、ポリオ予防接種を呼びかける新たなキャンペーンの誕生につながりました。

パンデミックの中、ブラジルでは全国でワクチンへの懐疑が広がりました。「ワクチンは安全」というメッセージを広げる必要があると考えたブラジルのロータリー会員、アントニオ・エンリケ・バルボサ・デ・バスコンセロスさん(フオルタレザアラガソンRCC所属)

「現国際ロータリー理事」は、証拠に基づき情報発信キャンペーンを提案。そして、世界保健機関(WHO)や汎米保健機構からの事実や統計を人びとに伝える「情報は命を救う」キャンペーンが立ち上げられました。

バスコンセロスさんのチームは、キャンペーン用の雑誌広告、看板、バスの窓やバス停に貼るステッカー、ラジオ広告、ウェブサイトを、ソーシャルメディア用グラフィックなど、各種メディアで使える広告をデザインし、国内のクラブに配布。多くのクラブは、これらの広告を地元で出すために、募金活動やパートナー団体を通じて広告料を捻出しました。

バスコンセロスさんと仲間たちはその後、ポリオ予防接種にも同じアプローチが取れることに気づきました。ブラジルでポリオ症例が最後に記録されたのは1989年ですが、接種率の低下によりポリオ再発の危険性が高まっています。回国保健省によると、2022年の国内の5歳未満の予防接種率はわずか72%。このため政府は

5歳未満の子どもの接種率を90%~95%にすることを目標に掲げています。

キャンペーンでは意図的にカラフルなデザインを用いて楽しそうなイメージを出しています。「ポリオ予防接種を受ける子どもを増やすと同時に、さまざまな人が結束する多様性を示したいと考えました」と話すのは、ロータリー公共イメージコーディネーターであるカルロス・ダニエル・フェルナンデスさん(リベイラン・プレトウレスRCC会員)です。「悲しいイメージではなく、楽しそうなイメージで人びとの注目を引くことにしました」

「情報は命を救う」キャンペーンと同じく、これもポリオと闘つたキャンペーンでも、多くのRCCが地元のパートナーシップを通じて資金を集め、無料で広告を出すことに成功しています。「市内のクラブは、2,000枚のポスターを病院や学校、保健センター、バスな



どに無料で掲示しました」とバスコンセロスさんは言います。

国際ロータリーブラジル事務局のアウレリア・ドス・サントスによると、キャンペーン用広告は「クラブがウェブサイトからダウンロードして、手を加えずにそのまま使える」ものです。

世界ポリオ根絶推進活動(GPEI)の創立メンバーであるロータリーは、1988年のGPEI創設以来、世界のポリオの症例を99.9%減らす合同の取り組みに参加してきました。ロータリーとパートナー団体は、これまで122カ国で30億人以上の子どもにポリオの予防接種を提供して

文: Eteka Lehoczy /Rotary International (国際ロータリーHead Office 披露)

12月14日(木) 例会の案内
例会変更 12月11日(月)
各員基金C創立40周年記念式典

於 名古屋東急ホテル

受付	16時30分
式典	17時00分
祝宴	18時00分
	18時20分
	20時30分

「POLIOヘルソング」

公共イメージ向上委員会
近藤 明美・小澤 幸男
松本 哲朗・桑山 光俊
*本文は、原則、頂いた原稿を転載しています。